下津井のとある路地

しおかぜだより

第２号

２０１８．５.20

特集

下津井へ、愛をこめて言わせてください②

～砂田民生委員と杉山駐在による対談・後編～

■しおかぜ地域支援事業部スタッフ紹介
■デイサービスで地域に元気を―お客様の声―
■まだかなサロン「セラバンド」のご紹介
■編集後記

発行／社会福祉法人しおかぜ
〒711-0927　倉敷市下津井 1482 番地 18
TEL 086-470-4848　FAX 086-479-7675
http://www.shiokaze-group.jp/

しおかぜの若い職員が撮影した写真です。彼女は休みの日や仕事終わりに撮りに行くそうです。
しおかぜ広報誌もなんとか第２号を発行しました！もし身近にしおかぜの関係者がおりましたら、感想をぜひお聞かせください♪お待ちしてます。
編集担当

下津井地区でも後を絶たない、特殊詐欺被害について（つづき）

杉山　（家族間で）合言葉を決めておくとか。一番不安なんは独居の方なんですけど、いま警察も独居の方を中心に家庭訪問をしょうります。それとしておかぜでもしたんですけど、講師による講話をしたりとか。あと金融機関に対して高額の引き落としをする人に対して声かけをお願いしとって。で（引き落としの）理由が判然とせん場合は、金融機関を通じて警察官を派遣して、警察官が直接、「そのお金は必要ですか」と言うようなシステムもとったりしてますね。

砂田　一人暮らしの人が言ってたけど、優しく色んな話を聞いてくれたら嬉しいんだって。やっぱり誰とも一日中話をしないときがあるから。近所の人や息子さん夫婦が隣におっても全然声かけしないから。1日中ものも言わない、テレビだけが相手でってかんじでね。私らとしては隣に息子さんがいるから安心というかんじで、そんな所は飛ばして、全然身内がいない人の所とか行くでしょう？

杉山　だから、本人にも大事だけど、やっぱ家族に対しても意識を高めるために、前にも配ったじゃないですか、タコのステッカー。最初、高齢者だけに絞って配ろうかと思ったんですけど、全世帯に配ったんですよ。結果として若い世代にも届いたんですけど、それを見ることでウチのオカン大丈夫かなあとか。

砂田　お母さんが詐欺にかかったら、やっぱり息子さんも気をつけんとって思うし。

矢野　介護の、認知症サポーターにもつながってくるんですが、高齢者に対して認知症サポーター養成講座を勉強してもらう一方、子どもさん世代にも自分の父母がこうなることがあるんじゃなと、しっかり理解して、事前に予備知識を得てもらおうというのが、僕らの課題にもなってますね。特に独居の方は家族と離れとって、子どもさんに伝えたい、知っとってもらいたい事を、言うことができなかったりするんで。その辺は高齢者に共通する課題や、高齢者の危ないところを息子さん世代に伝えたい。

砂田　いずれはわが身になるんじゃからねえ…。

矢野　そうです。その辺りは我々の地域支援委員の方でも協力してやっていけたらなあと思ってます。

地域の防犯啓発看板や特殊詐欺防止啓発のための活動を進めるにあたっての課題等があればお話ください。

杉山　自治体によっても防犯意識の高い低いってあるんですよ。赴任してから塩生に行ったら「防犯カメラ設置中」ていう看板がやたらと目について。で、そういうの見たら警察官である自分ですら緊張感みたいなのがあって、本当に悪いことしようとしとる人にとってみたら大分効果あるんかなあと。これは良いなと思って、管外ですが自治会長にアポを取って飛び込みで会いに行って「こういう素晴らしいことをうちでもやりたいんです」って。駐在さんがこんなこと聞きに来たこと無いよと言われながらも、色々やり方とか聞いて。お金の問題が一番困ったんですけど、しおかぜさんや、地域企業の方とか、社協、町内会長など色々な方に協力を得て西学区で5箇所設置したんですよ。防犯の効果を期待してつけたのと、もう1つは地元の防犯意識が高まったら良いなと

下津井へ、愛をこめて言わせてください②

民生委員砂田会長と杉山駐在による対談・後編

いうのもありました。さらに他の地域がうちでもつけたいなってきっかけになればと思ってやったのもあるんですが、そこは悲しいんですけどそれっきり…。

砂田　1つつけるのにどの位(金額が)かかるんですか？

杉山　5、6千円でしてくれたんですよ。

砂田　じゃあ各部落でもしてったらね。

杉山　できん事はないと思うんですけど、なんでかなって考えたら塩生って国道が近くにあるし、工業地帯もあるし、余所からの出入りが大きい半面、下津井はやっぱり閉鎖的で(注：塩生の看板・外灯は製鉄会社など大企業の寄付も大きいと思います)。距離的には近くなんだけど防犯意識の距離は離れとるなって実感があったんですよ。

砂田　下津井はびっくりしたでしょう。鍵かけてない家が多くて。

杉山　鍵かけてない家多いです。外部から人入らんから安心ってゆうのもあるんですけど、今はもうネット社会で犯罪は場所とか時間とか関わらず起きるので。少しでもみなさんの防犯意識も高まってもらえたらなって活動を心がけとんですけどなかなか厳しいですね。

矢野　僕の課題でもあるんですけど、警戒心がなくて詐欺の危険が高い方に直接入っていけるよう、もちろん町内会の方の協力も必要ですがやっていきたい。で、この人は…って思ったら家族とのパイプをしっかり築いてあげたりとか。そういった方々に集まってもらえたらと思うんですけど、地域柄なかなか集まれるような所がね…。

砂田　サロンにも行ってみようかって言ってくれるんですけど、その日にお迎えに行ったらやっぱよう行かんわって断られるんですよ。

矢野　ここまで色々なお話を聞いたんですが、杉山さんも砂田さんも感じている住民力の意識向上というのは非常に大事なところですよね。犯罪、マナー、高齢化の事もそうなんですが、それぞれ直面している問題に皆で取り組んでいくという。例えば車を走らせて買い物ツアーなどをしてあげることは。我々社会福祉法人としては簡単なことなんですけど、それをしてしまうと、しおかぜが買い物に行ってくれるならいいか～と、そうなってしまうと本来の形じゃないかなあ～と思っていて。

最後に我々社会福祉法人に期待すること、要望などあれば教えてください。

砂田　こないだ民協の時に（施設に）入所の仕方がわからない人にお話に来てくださったでしょう。ああいうのは民生委員も知らないことで、入所は国民年金じゃ無理とか、ようけお金ないと施設入れないと思ってる人がいたから助かったんです。あんな風に色んなお話聞かしてもらったらね。今、大室で体操もされてるんでしたっけ。

矢野　まだかな会館で1回、古下津井で2回としてます。

砂田　施設との接点があったらちょっと相談してみようってこともできるけどね。元気な人は友達同士でデイサービス行って、また行こうねって誘い合う事もあるんですけど。本当に困っている人、行って欲しい人は出ないからそういう人を引き出すのが大変ですよね。

矢野　やっぱり一歩なんですよ。一歩踏み込んで色んな会話ができたら嬉しがる方もおられるから。そういう方がいるのを教えてくだされば、全然関係ない立場から作戦立てながら、誘導してあげたりとかはできると思います。

砂田　せっかく近くにあるんだから、皆もっとしおかぜさんをね。

矢野　まあ山の上にありますからね。道の途中に出張所でも作りたいんじゃけど（笑）

砂田　今度、景観を考える会と別でまちづくり推進委員を立ち上げるんですよ。

杉山　そういうのをね、連携していきゃいいと思うんですよ。色んな団体があってそれぞれが同じ方向に向かって別々に活動するよりも、3本の矢のように固まって動けば足りない所を補ったりして成果も上がるんじゃないかなあと。だからそういう橋渡し的な役割を、しおかぜさんには期待しているところです。

お二人とも、ありがとうございました！

―デイサービスで地域に元気を
お客様の声をお聞きしました―

【デイサービスセンター下津井編】

【奥野　敬子さん、合田　富美子さん】

デイサービス下津井（以下デイ下津井）を利用して、何か変化がありましたか？

- ずっと足の痛みがあり、歩くのも困難な状態で辛い期間があったが、岡先生のもとリハビリしていたら、現在は全然足の痛みがなくなった。本当に楽になった。
- 湯船の中で座ることも今朝できた。
- いくら良いアドバイスをしていただいても、本人が治そうという気持ちがないと、何にもならないと思う。

デイ下津井に来て良かったことはなんですか？

- 健康づくり、友達づくりができること。
- しっかりコミュニケーションもとれ今まで以上に前向きになれた。
- 食事のバランスもとれている。
- スタッフが真剣に取り組んでくれているのが伝わってくる。親切である。目配り、気配りができている。利用者の幸せづくりをしてくれている。

食事についてはどうですか？

- 金額的に考えても品数が豊富で、デザートも付いていて栄養のバランスも考えてくれている。
- その時の体調に合わせてお粥にもしてくれて、とてもありがたい。
- 家だと自分でしないといけないことを考えると本当にありがたく感じる。
- 大体薄味にしてくれているが時々辛めの時がある。同じ方がいつも味付けていると限らないと思うので仕方ないのかなと思う。

【江見　アヤ子さん】

デイサービス下津井（以下デイ下津井）を利用して、何か変化がありましたか？

- しおかぜに来て運動をはじめてから足に水がたまらなくなった。自宅の前の道は坂道だが以前は休み休み上まであがっていたが、今は休むことなく上がれるようになった。

デイ下津井に来て良かったことはなんですか？

- 食事のおいしいところ。
- 職員がよく面倒を見てくれる。
- 同年代の人と話ができる。

まだかなサロンのご紹介！

昨年１２月よりまだかな会館で西町の隅田磨利子さんと有志の方が集まってサロン活動をされており、しおかぜもその活動を応援させていただいております。

毎週木曜１４時から約１時間、運動やおしゃべりをしています。メインは健康体操ですが今回新たに法人の理学療法士岡先生の指導のもと、簡単に取り組める「セラバンド」体操のご紹介をさせていただきました。岡先生は、矢掛町でセラバンドを普及させるメンバーとして活躍された方です。音楽に合わせてバンドの伸縮を使う簡単な体操ですが効果は抜群！まだかなサロンでも取り入れていきたいとの要望で、この度の指導となりました。いつまでも住みなれた場所で住み続けることを目指してこのような活動が広がっていけばいいなぁ～と思っております。

セラバンドの岡先生

しおかぜのフェイスブックページ、更新中！

各施設の行事の様子

４コママンガ

矢野のまち歩き

写真が盛りだくさん！

しおかぜ　facebook　検索

編集後記

「ふる里」

郷土の先達である故角田直一氏は、その著書 風土記下津井”に「まちには一本の道が貫通している」と書き出し、人口一万人 戸数二千戸がこの道の両側で生活が行われ楽しみや悲しみはいつもこの道を通ってやって来て通り過ぎて行った。そこには暖かい「絆」と生き生きとした営みがあった。この著書から四十余年の歳月が過ぎ去った。

最近、心思いにかられ下津井の町を歩いている。鷲羽山、城山、観音寺、祇園神社、三百山の風景は対岸の四国の工業地帯と瀬戸大橋を除くと、昔日の豊饒の海と景観に満ち溢れていると同時に（この町に住む我々年代にすると多少の複雑な思いはする）その背後にある地域経済の大きさを考えると時代の要望であることも確かである。

さて、今日の下津井の町は一本の道ではない海岸道路ができ、生活文化にいろいろと恩恵を受けている。下津井三丁目には広大な区画整理ができ、三百山にも五千坪の老人ホームができた。来年の秋頃には、同一敷地内に待望の幼老の施設ができる予定です。

一方で地域を支えてきた水産業は古くから海を持つことの困難さの中、水島の埋め立て、特定港湾の設置、水質汚染による赤潮、水銀汚染、三石重油流失、海砂利採取、そして瀬戸大橋架橋と故角田直一氏が誇り高く語っていた「豊饒の海」から「工業の海」へと変わった。時代の流れが下津井の漁業史に大きな衰退を余儀なくさせた。

きょうも旧道から路地を歩いたが人に会うことは少ない。これが世に言う少子高齢化であろう。下津井東西小学校生徒数１５７名、下津井中学校生徒数８３人、他方倉敷市の高齢化率２６・９％、下津井地区高齢化率４０．１％これが目の前の現実です。行政は平成三十年度から地域包括ケアをスタートしたが各学区の高齢者支援センターが核となり地域住民挙げて取り組まなければならない。

私ども社会福祉法人しおかぜも一年前から前倒しでこの課題、地域包括ケアに取り組んでいますが何よりも住民生活の情報把握と信頼関係を築きながら最大限の努力をしていく方針です。地域各団体共々協力し合いながらこの問題を乗り越えてゆきましょう。

平成三十年　老春　書く

しおかぜ地域支援事業部
スタッフ紹介

介護相談センター
吉田栄一
趣味：瓢箪作り

介護相談センター
小柳由美子
趣味：お寺巡り

地域支援部長
矢野旬一
趣味：ジョギング

デイサービス城山
合田浩陸（ひろみつ）
趣味：サーフィン

デイサービス城山
福永悦子
趣味：ガーデニング

特養　榊原翔
趣味：読書・お酒を飲むこと

琴浦園
原浩文
趣味：家電

ひだまりの家
河野知世
趣味：カメラ

こども園
高橋くみ子
趣味：バレーボール

本部
山本周二
趣味：テニス

本部
森本祐子
趣味：バレーボール

琴浦園
瀬戸口春枝
趣味：石拾い

私たちが地域のみなさまと一緒になり、町の福祉課題解決に取り組みます！